



生活造形学科の学生が、舞鶴市吉原地区の歴史的町並み・建造物・生活風習を調査

## 「吉原まちあるきMAP」完成報告会 取材のご案内

【日時】2024年3月3日(日)13:00~15:00

【会場】京都府漁業協同組合舞鶴支所 2階 会議室（舞鶴市字下安久無番地）

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安 栄子）は、家政学部 生活造形学科の学生達が舞鶴市吉原地区の町並みを調査し、舞鶴市及び吉原歴史的景観保存活用実行委員会と連携して制作した「吉原まちあるきMAP」の完成報告会を、2024年3月3日（日）13時より、京都府漁業協同組合舞鶴支所にて開催します。

報道関係の皆様には、ぜひご取材いただきたくご案内申し上げます。

### ■舞鶴市吉原地区は、入江に沿って昔ながらの舟屋が連なる“東洋のベネチア”と呼ばれる漁師町。

江戸時代から漁師町として栄えた吉原地区は、昔ながらの佇まいをとどめており、入江に沿って狭い間口の木造の舟屋が密集して軒を連ねることから“東洋のベネチア”とも呼ばれています。

2017年に本学学生達が吉原地区の歴史的建造物や町並み等を調査し始めたことをきっかけに、2020年からは京都女子大学生生活デザイン研究所で、舞鶴市の委託事業として江戸時代末期から昭和前期の伝統的な建造物が残る吉原地区の歴史的景観を保存・活用することを目的に、同地区の形成と町並み景観の研究を行っています。

この度、舞鶴市からの依頼を受け、学生達が中心となって、地域の人々に昔ながらの町並みや建造物の魅力を再認識していただきたいと考え、さらに観光への活用も視野に入れた「吉原まちあるきMAP」を制作しました。

### ■若者の目線で選んだ建造物や風景・生活風習などを、学生によるイラストや写真で紹介したMAPが完成。

学生達は、2023年9月末より、①建築物の構造調査、②生活風習のヒアリング、③西舞鶴駅から吉原地区までのお散歩コースを検討する3グループに分かれて調査を開始し、およそ半年でMAPを完成させました。MAPのイラストや写真も学生が担当し、若者目線で選んだ、魅力的なデザインやユニークな建造物、特徴のある構造の家屋をはじめ、歴史や風習・祭りなどが紹介されています。

報告会では、吉原地区の漁師の皆様を中心に発足した吉原歴史的景観保存活用実行委員会や同地区にお住まいの皆様にご出席いただき、完成したMAPを披露します。

### 《開催概要》

■日 時 2024年3月3日（日）13:00~15:00（受付開始12:30）

■場 所 京都府漁業協同組合 舞鶴支所 2階 会議室

住 所：舞鶴市字下安久無番地（「舞鶴湾かき小屋 美味星」南隣）

アクセス：JR西舞鶴駅前から京都交通和田線52系統 東舞鶴方面バス停二尾から徒歩3分

■内 容 吉原まちあるきMAPの調査・デザインについて報告

京都女子大学 家政学部 生活造形学科 3回生7名、大学院1回生2名

■出席者 吉原歴史的景観保存活用実行委員会および地域住民の皆様（当日受付 先着100名）

舞鶴市 文化振興課 歴史文化まちづくり担当課長 松本達也、都市計画課長 上羽讓司

京都女子大学 家政学部 生活造形学科 教授 鶴岡典慶、准教授 是永美樹

### 【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福嶋・小宮 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 北山・堀川・竹縄 TEL：075-531-7054

※会場準備の都合上、ご取材いただける方は、3月1日（金）17時までに添付のFAX返信用紙もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、komiya@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・小宮 宛

生活造形学科の学生が、舞鶴市吉原地区の歴史的町並み・建造物・生活風習を調査

「吉原まちあるきMAP」完成報告会 取材のご案内

【日時】2024年3月3日(日)13:00～15:00

【会場】京都府漁業協同組合舞鶴支所 2階 会議室（舞鶴市字下安久無番地）

□ご出席

媒体名		
貴社名		
部署名		
ご芳名	他_____名様	
連絡先	TEL	Mail
当日のご連絡先	TEL	
ご出席人数	計_____名様	
	(ムービー)	台 / (スチール) 台
《備考欄》 ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入をお願いします。		

※会場準備の都合上、ご取材いただける方は、3月1日（金）17時までに添付のFAX返信用紙  
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。